

■ 掲示板

■ 鳥取大学大学院工学研究科教員公募

このたび下記の要領で教員を募集することになりましたのでお知らせします。

1. 募集人員：教授 1 名
2. 所属：化学・生物応用工学専攻 応用化学講座
3. 専門分野：物理化学，構造化学
4. 担当授業科目：
(大学院) 構造化学特論
(学部) 構造物理化学，物質工学実験及び化学の基礎科目
5. 応募資格：
 - 1) 博士の学位を有すること
 - 2) 上記の専門分野に関して十分な研究業績を有し，教育及び専攻運営にも熱意があること
6. 着任時期：2013年4月1日(予定)
7. 提出書類：
 - ①履歴書(様式1)
 - ②教育歴(様式2)
 - ③研究歴(様式3)
 - ④その他の活動歴(様式4)
 - ⑤着任後の抱負(様式5)
 - ⑥研究業績リスト(様式6-1)
 - ⑦所見を伺える方の照会先(2名)または推薦状(2通)(様式7)
 - ⑧主要な査読付学術論文の別刷り(コピー可)：5編程度
8. 応募締切：2012年9月28日(金曜日)必着
9. 選考方法：専攻内選考(1次：書類審査，2次：面接(プレゼンテーションを含む))及び研究科内選考
10. 問合せ先・送付先：
〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101
鳥取大学大学院工学研究科化学・生物応用工学専攻
応用化学コース長 齋本博之
電話/FAX：0857-31-5693
E-mail：saimoto@chem.tottori-u.ac.jp
(封筒表面に「教員応募書類在中」と朱書し，簡易書留郵便又は宅配便にて送付のこと。なお，原則として提出書類は返却しませんのでご了承ください。)
11. 公募の詳細については，必ず以下のホームページを参照すること
<http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html>

■ 東京大学物性研究所教員公募について

下記により助教の公募をいたします。適任者の推薦，希望者の応募をお願いいたします。

1. 研究部門名等および公募人員数：国際超強磁場科学研究施設(松田研究室)助教1名
2. 研究内容：国際超強磁場科学研究施設，松田研究室の助教として嶽山研究室と密接に連携し，破壊型パルスマグネットを用い

て，100 T から1000 T 領域の超強磁場における磁性体や半導体，超伝導体の研究を行う。測定技術開発，新規分野開拓に強い意欲があり，物理的には比較的広い分野に興味を持つ方を希望する。強磁場実験の経験は問わないが，固体物理学における実験的研究に携わってきた方が望ましい。

3. 応募資格：修士課程修了，またはこれと同等以上の能力を持つ方。
4. 任期：任期5年，再任可。ただし，1回を限度とする。
5. 公募締切：平成24年9月28日(金)必着
6. 着任時期：決定後なるべく早い時期
7. 提出書類：
 - (イ) 推薦の場合
 - 推薦書
 - 履歴書(略歴で可)
 - 業績リスト(特に重要な論文に○印をつけること)
 - 主要論文の別刷(3編程度，コピー可)
 - 研究業績の概要(2000字程度)
 - 研究計画書(2000字程度)
 - (ロ) 応募の場合
 - 履歴書(略歴で可)
 - 業績リスト(特に重要な論文に○印をつけること)
 - 主要論文の別刷(3編程度，コピー可)
 - 所属長・指導教員等による応募者本人についての意見書(作成者から書類提出先へ直送)
 - 研究業績の概要(2000字程度)
 - 研究計画書(2000字程度)

8. 書類提出先：

〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号
東京大学物性研究所総務係
電話 04-7136-3207 e-mail issp-somu@kj.u-tokyo.ac.jp

9. 本件に関する問合せ先：

東京大学物性研究所附属国際超強磁場科学研究施設
准教授 松田康弘
電話 04-7136-5329 e-mail ymatsuda@issp.u-tokyo.ac.jp

10. 注意事項：

「国際超強磁場科学研究施設(松田研究室)助教応募書類在中」，または「意見書在中」の旨を朱書し，郵送の場合は書留とすること。

11. 選考方法：東京大学物性研究所教授会にて審査決定いたします。ただし，適任者のない場合は，決定を保留いたします。
12. その他：お送りいただいた応募書類等は返却いたしませんので，ご了解の上お申込み下さい。また，履歴書は本応募の用途に限り使用し，個人情報とは正当な理由なく第三者への開示，譲渡及び貸与することは一切ありません。

■独立行政法人理化学研究所 播磨研究所・放射光科学総合研究センター 主任研究員公募

募集研究室：理化学研究所では、以下の要領で主任研究員を公募します。今回募集する主任研究員には播磨研究所放射光科学総合研究センターの先端光源開発部門、利用技術開拓研究部門で、研究室を主宰する他、種々の活動を通して理化学研究所の研究運営に参画していただきます。

研究室の概要：

分野：先端光源開発部門、利用技術開拓研究部門

2011年のX線自由電子レーザーの発振の成功により、播磨研究所・放射光科学総合研究センターは、X線自由電子レーザー(XFEL)施設SACLAおよび大型放射光施設SPring-8という2つの世界的な最先端光源施設の複合体を有する世界唯一の研究機関となった。今回、①SPring-8の高性能化、SACLAのさらなる実用化などを含む、加速器科学やX線光学に基づく先端光源光学研究を担う先端光源開発部門、②SPring-8及びSACLAを用いた応用研究など、光の活用による未踏領域研究を開拓する先端放射光利用研究を担う利用技術開拓研究部門、の2つの研究部門において、主任研究員として公募・選考します。選考された主任研究員は、強力なリーダーシップを発揮し、理化学研究所播磨研究所放射光科学総合研究センターを未踏の高エネルギーフォトンサイエンスを創成する国際的な拠点とし、我が国の科学技術の発展をリードしていくことが期待されます。

募集職種、募集人数及び職務内容：主任研究員 2名

応募資格：大型施設において、プロジェクトを推進するリーダーに相応しい実力と研究実績をもつ方。国籍は問いません。

応募者には、広く研究提案を募り、それぞれの研究開発提案が放射光科学総合研究センターの将来に、どのように貢献できるか積極的に記載されることを望みます。また、海外に多数ある施設との、国際的な競争並びに協奏と連携を推進できる方を望みます。

勤務地：

事業所名及び住所：

独立行政法人理化学研究所

播磨研究所 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1

待遇：常勤を前提とする。60才定年。給与は、独立行政法人理化学研究所の規定による(部長級、年俸制、報奨金制度有)。

応募方法及び締切日：

[提出書類] 英文で提出

- ・履歴書(写真貼付)
- ・研究業績目録(その中の主要論文5編以内に○印をつけ、別刷各1部を添付)
- ・従来の研究概要と採用希望部門及び研究開発提案(合わせてA4用紙5枚程度)
参考資料；2011年の国際評価白書(RSAC2011, <http://rsc.riken.jp/RSAC2011/WhitePaper2011.pdf>) 評価報告書(<http://rsc.riken.jp/RSAC2011/RSAC2011Report.pdf>)
- ・応募者本人の研究を評価できる方3名の氏名、連絡先。

締切日：平成24年9月30日必着。

[個人情報取扱について]

提出していただいた書類は、独立行政法人理化学研究所個人情報保護規程に則り厳重に管理し、採用審査の用途に限り使用されません。

これらの個人情報は正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

着任時期：平成25年4月1日以降のなるべく早い時期。

備考：提出書類は原則として返却しない。

本募集及び当研究所の研究活動については、理研・播磨研ホームページに掲載しています。

(<http://www.riken.jp/>もしくは<http://rsc.riken.jp/>)

問合せ先・書類送付先：

理化学研究所 播磨研究所 高田昌樹

〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1

電話：0791-58-2942/FAX：0791-58-2717

E-mail address：takatama@spring8.or.jp

■公益財団法人高エネルギー加速器科学研究奨励会

西川賞・小柴賞・諏訪賞・熊谷賞候補者募集要綱

1. **趣旨：**高エネルギー加速器ならびに加速器利用に関する実験装置の研究において、特に優れた業績をおさめた研究者・技術者に西川賞・小柴賞・諏訪賞・熊谷賞を授与し、もって加速器科学の発展に資することを目的とする。

2. 対象となる候補者：

西川賞：高エネルギー加速器ならびに加速器利用に関する実験装置の研究において、独創性に優れ、かつ論文発表され、国際的にも評価の高い業績をあげた、原則として50才以下(応募締切時)の単数または複数の研究者・技術者。

小柴賞：素粒子研究のための粒子検出装置の開発研究において、独創性に優れ、国際的にも評価の高い業績を上げた、原則として50才以下(応募締切時)の単数または複数の研究者・技術者。

諏訪賞：高エネルギー加速器科学の発展上、長期にわたる貢献など特に顕著な業績があったと認められる研究者・技術者・研究グループ。

熊谷賞：研究開発、施設建設等長年の活動を通じて、高エネルギー加速器や加速器装置の産業応用に顕著な貢献が認められる加速器関係者。

3. **年間表彰件数：**各賞合わせて5件以内。

4. **賞の内容：**表彰盾及び各賞1件当たり30万円の賞金。

5. **選考方法：**推薦された候補者について財団法人高エネルギー加速器科学研究奨励会選考委員会が選考し、理事会において決定する。

6. **選考：**平成24年11月上旬

7. **提出書類：**

(1) 推薦書

当法人ホームページ掲載の様式(<http://www.heas.jp/award/suisensyo.doc>)に従う

(2) 選考資料

研究業績に関する発表論文(3編以内)のコピー(各2部)

8. **提出期限：**平成24年10月5日(金)

9. **書類の提出ならびに問合せ：**

公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会

〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1

高エネルギー加速器研究機構内

TEL・FAX：029-879-0471 E-mail：info@heas.jp

ホームページ：<http://www.heas.jp/>

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2012年 8/9-10	2012年度日本物理学会科学セミナー 「元素誕生と周期表—私たちを取り巻く原子核」	東京大学本郷キャンパス小柴ホール	日本物理学会 E-mail: seminar@jps.or.jp	25・4
8/25-26	SPring-8 シンポジウム2012 「Science, Technology and Innovation」 —学術界、産業界における SPring-8 の有効利用—	大阪大学コンベンションセンター	SPRUC, JASRI, 理研, 大阪大学 E-mail: sp8sympo2012@spring8.or.jp	25・4
9/3-7	19th WIEN2k WORKSHOP	早稲田大学理工学術院 西早稲田キャンパス	ウィーン工科大学, 早稲田大学 E-mail: wien2k-ws2012@cms.sci.waseda.ac.jp	25・2
9/5-9/8	GOLD2012: The 6th International Conference on Gold Science, Technology and its Applications	京王プラザホテル東京	GOLD2012組織委員会 E-mail: goldcat@tmu.ac.jp	24・6
9/10-12	第15回 XAFS 討論会	白兔会館	日本 XAFS 研究会 E-mail: okmr@chem.tottori-u.ac.jp	25・3
9/11	第4回 SPring-8 粉末材料構造解析研究会	銚日本化学会 化学会館	SPring-8 利用推進協議会 研究開発委員会 E-mail: miurakk@spring8.or.jp E-mail: suishin@spring8.or.jp	25・4
9/20-21	第3回社会人のための表面科学ベーシック講座	早稲田大学国際会議場	日本表面科学会 E-mail: shomu@sss.jp	25・4
9/28	文化財科学講演会—放射光・中性子で文化財を探る—	研究社英語センタービル	(独)理化学研究所 播磨研究所, (公財)高輝度光科学研究センター, (財)高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所, (一財)総合科学研究機構 東海事業センター E-mail: sp8ws1@spring8.or.jp	25・4

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

■2012年度日本物理学会科学セミナー 「元素誕生と周期表—私たちを取り巻く原子核」

物質は電子と原子核とから構成され、原子核は陽子と中性子で構成される。原子核は陽子の数に応じて原子番号が決まり、同じ原子番号を持つ原子は同じ元素名で呼ばれる。すなわち元素には中性子数が異なる同位体が存在する。自然界にはほぼ一定の割合の原子核が存在し、また人工的に作られもしており、さらには自然に崩壊しているものもある。私たちの生活に必要な元素、有用な物質を構成するのに必要な元素、その代用にかかわるものなど、生活を取り巻く元素と原子核に焦点をあてて、様々な分野の第一線の研究者に講演をしていただき、元素と原子核に関わる科学を学ぼうと思います。

主 催：日本物理学会

日 時：2012年8月9日(木)～10日(金)

場 所：東京大学本郷キャンパス小柴ホール

参加費：無料

定 員：160名。先着順とし、定員に達し次第、締め切ります。

対 象：大学生、教員の方、一般の方々

問合せ先：E-mail: seminar@jps.or.jp

TEL: 03-3816-6201 FAX: 03-3816-6208

■SPring-8 シンポジウム2012

「Science, Technology and Innovation」

—学術界、産業界における SPring-8 の有効利用—

SPring-8 は、1997年に供用が開始されて以来、ビームラインの整備もほぼ完了し、建設フェーズから完全な利用フェーズに移行しました。そして、世界のトップランナーとして、数々の成果を創出し、放射光科学を牽引する役割を果たしています。今後さ

らに SPring-8 が発展的に成果を創出し続けるために、これまでの任意会員による SPring-8 利用者懇談会を発展させ、学術界、産業界の利用者全員で組織する「SPring-8 ユーザー協団体」(SPring-8 Users Community: 以下 SPRUC) を2012年4月に創設しました。SPRUC のミッションは、SPring-8 と連携して、施設や計測技術の先端性や利用システムの利便性の向上に寄与すると共に、SPring-8 の利活用を通して、科学技術の進歩、新学術、新産業の創成、更には、人材育成や社会の発展に寄与することです。

この SPRUC の中心的な活動の一つとして、SPring-8 シンポジウム2012を開催することになりました。このシンポジウムは、様々な分野にわたるユーザーの科学技術的交流の場として、学協会、SPRUC を構成する代表機関、SPring-8 施設者((触理化学研究所: 以下理研)・財高輝度光科学研究センター: 以下 JASRI) と共に開催するものです。学術・産業界の SPring-8 利用者による研究成果発表や、ビームラインのスクラップ&ビルドや SPring-8 将来計画についての議論を通じて、SPring-8 の利活用の促進と発展のための情報を共有し、利用者相互および施設との意見交換により、SPring-8 の発展的な利活用の方向性について議論することを目的とします。

主 催: SPRUC, JASRI, 理研, 大阪大学

日 時: 2012年8月25日(土)~26日(日)

場 所: 大阪大学コンベンションセンター

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1

TEL : 06-6879-7171

<https://55099zwd.coop.osaka-u.ac.jp/convention/>

問合せ先: E-mail : sp8sympo2012@spring8.or.jp

■第4回 SPring-8 粉末材料構造解析研究会 (副題—材料構造解析のための最新手法情報)

一昨年より「SPring-8 粉末材料構造解析研究会」は、先端機能材料開発で注目されている触媒、有機・無機デバイス、有機材料、医薬品など幅広い粉末試料の構造解析を通じて SPring-8 利用の向上と普及を図ることを念頭に活動しております。

第4回では、量子ビームを用いた粉末材料の構造解析についての最新情報を中心に、中性子回折の基本から、放射光利用のエネルギー・材料分野での広範囲な活用最前線の紹介と合わせて、高圧高湿度制御装置やガンダルフカメラの詳細紹介もしていただけるようにいたしました。

今後の SPring-8 ご利用の発展を目的として、産学官の研究者各位にとっての情報交換の場として、ご活用いただけることを期待いたします。

主 催: SPring-8 利用推進協議会 研究開発委員会

共 催: (公財)高輝度光科学研究センター (JASRI)

日 時: 2012年9月11日(火)

場 所: (株)日本化学会 化学会館 7F ホール (研究会), 5F 会議室 (技術交流会)

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

アクセス: JR 中央線・総武線「御茶ノ水」駅 御茶ノ水橋口 徒歩3分

<http://www.chemistry.or.jp/kaimu/office/map.html>

定 員: 80名 (聴講無料, 定員になり次第締め切ります)

問合せ先:

(公財)高輝度光科学研究センター (JASRI/SPring-8)

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1 丁目 1-1

TEL 0791-58-0924, FAX 0791-58-0830

JASRI 産業利用推進室 三浦圭子 (miurakk@spring8.or.jp)

事務局 (suishin@spring8.or.jp)

SPring-8 利用推進協議会

HP URL <http://www.spring8.or.jp/ext/ja/iuss/>

■第3回社会人のための表面科学ベーシック講座

本講座では、大学で表面科学の基礎を学ぶ機会を逸した方やもう一度基礎から学び直したい方を主な対象として、表面がなぜ重要なのかを大学学部レベルの基礎知識をもとに解きほぐして解説します。

今日、産業に密接に関わりながら表面が重要な役割を果たす領域はきわめて広範にわたっています。たとえば、触媒、電極・電池、半導体、吸着剤、センサー、光学材料、磁性材料、摩擦・潤滑剤、コロイド、化粧品、印刷などは表面の理解や制御がなくては成り立たず、環境、資源、エネルギーの地球規模の諸問題では表面がますます重要になってきています。本学会ではこれまで、表面・界面分析の初心者、若手研究者、技術者を対象として、目覚ましく進歩を続ける表面・界面分析の基礎と応用を解説する基礎講座を毎年開講してきました。しかし、技術の背景にある物理的・化学的基礎を学ぶ機会は限られています。

本講座では、固体物理などの専門的知識を前提とせず、表面での電子状態と表面を舞台とした分子の吸着・脱離を学べるカリキュラムを用意して、基礎講座と相補的な基礎知識を学んでいただきます。

主 催: 公益社団法人 日本表面科学会

日 時: 2012年9月20日(木)~21日(金)

場 所: 早稲田大学国際会議場 3F 第1会議室
(東京都新宿区西早稲田 1-20-14)

参加定員: 100名 (定員に達し次第メッキリ)

受講料: 表面科学会正会員 20,000円

表面科学会維持会員 20,000円

表面科学会賛助会員 25,000円

協賛学協会会員 30,000円

表面科学会学生会員 7,000円

学生 (非会員) 9,000円

その他 35,000円

申込締切: 2012年9月14日(金)

申込方法: URL (<http://www.sssj.org>) でお申し込み下さい。

問合せ先:

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-40-13

本郷コーポレーション402

TEL : 03-3812-0266 FAX : 03-3812-2897

E-mail : shomu@sss.j.org

URL : <http://www.sssj.org>

■文化財科学講演会—放射光・中性子で文化財を探る—

放射光と中性子は、物質の広範囲の評価を非破壊で行える探索子であり、文化財科学研究においても極めて重要な手段です。しかし、我が国におきましては、放射光も中性子も文化財科学分野での利用が狭い範囲に留まっております。このような状況で、文化財科学における放射光利用と中性子利用の研究成果を広く紹介するために、SPring-8、つくばPF、J-PARCの3施設が連携して講演会を開催します。

主催： 物理化学研究所 播磨研究所，(公財)高輝度光科学研究センター，(共)高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所，(一財)総合科学研究機構 東海事業センター

共催： 日本放射光学会，(公社)日本化学会，他

日時： 2012年9月28日(金) 13時-17時30分(予定)

場所： 研究社英語センタービル 地下2階 大会議室
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1-2
(JR 飯田橋駅西口より徒歩3分)

参加費・定員： 無料・100名

申込期間：

7月2日(月) 10:00~9月24日(火) 17:00まで(予定)
(定員に達し次第、締め切らせていただきます。)

申込方法： On-line 登録での参加受付

<http://www.spring8.or.jp/ja/> ⇒ 学術会合 ⇒ 文化財科学講演会

問合せ先：

(公財)高輝度光科学研究センター (JASRI/SPring-8)

研究調整部研究業務課 垣口伸二

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1

TEL: 0791-58-0949 FAX: 0791-58-0830

E-mail: sp8ws1@spring8.or.jp

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 玉作賢治

渉外幹事 若槻壮市

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザーIDとパスワードは

User ID : jsr254

Password : Trki6Poa

です。このユーザーIDとパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、若槻 (soichi.wakatsuki@kek.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、玉作 (tamasaku@spring8.or.jp) までお願いします。